

予防接種とは？

感染症の発生を予防し流行を抑える目的で、不活化もしくは弱毒化した細菌、ウイルス、毒素などを免疫原（ワクチン）として接種して免疫力を得ようとするものです。

～知って安心～ 予防接種



＋ 近年の予防接種制度の動向

天然痘などの感染症がまん延し大きな健康被害を受けてきた時代は去り、現代ではそれら感染症の大きい流行が見られなくなりました。そのため、予防接種によって感染症の流行を抑えていることを忘れてしまいがちです。近年、予防接種とそれを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

予防接種の知識を持って、安心して健康保持に努めましょう。

【健康医療課】

日本では、予防接種法および結核予防法に基づいて小児を中心に、広く予防接種が行われてきました。しかし、近年、感染症の流行の多様化、医療技術の進歩、ワクチンの改良・開発、海外とのワクチンギャップの問題から、予防接種制度の幅広い見直しが行われ、接種方法などに大きな変化が生じています。特に、小児へ接種するワクチンの種類・回数が急速に増え、接種スケジュールも複雑になってきました。

複数のワクチンを一つにまとめる混合ワクチンの開発など進

められているところですが、もう少し時間がかかるようです。

制度の改正として平成26年には、小児向けに水痘（水ぼうそう）、高齢者向けに肺炎球菌感染症が、予防接種法の定期接種の対象疾病に追加されました。（定期接種とは、予防接種法という法律に基づき市町村が実施する予防接種です）

また、今年の10月には、乳児に対してB型肝炎（※）が追加されることが決まっています。※詳細は本紙12・13ページの「健康だより」をご参照ください。

ワクチンで防げる病気

すべての感染症に対して、ワクチンが作れるわけではありません。細菌やウイルスの性質によって、作れない物もあります。ワクチンで防げる病気には、次のようなものがあります。

- | | | | |
|-------------|-----------|-------|-----------------|
| ・ヒブ(Hib)感染症 | ・おたふく風邪 | ・日本脳炎 | ・ポリオ |
| ・ジフテリア | ・黄熱 | ・B型肝炎 | ・風しん |
| ・結核 | ・肺炎球菌感染症 | ・A型肝炎 | ・ヒトパピローマウイルス感染症 |
| ・水痘(みずぼうそう) | ・破傷風 | ・狂犬病 | ・ロタウイルス感染症 |
| ・インフルエンザ | ・麻しん(はしか) | ・百日せき | ・髄膜炎菌感染症 |

感染症を予防するため小児期に接種するワクチンがほとんどですが、高齢者の向けの予防接種は次の2種類となります。



- ・肺炎球菌感染症
- ・インフルエンザ（※）

※詳細は本紙12・13ページの「健康だより」をご参照ください。



下呂市の予防接種

接種状況

予防接種の種類にもよりますが、BCGや麻しん風しん混合ワクチン（MR）など、90%を超える接種率を維持しています。

高齢者向けの予防接種では、高齢者肺炎球菌は約50%、インフルエンザは約60%の接種率となっています。

料金の一部助成

定期接種のうち、小児向けの予防接種については自己負担無しで接種できますが、高齢者向けの予防接種については一部自己負担が必要になります。

この他に、子育て支援策の一環で、下記の予防接種料金の一部助成も行っています。これらは任意予防接種の一部で、法律に義務付けされたものではなく、接種対象者の希望により接種するものです。接種希望の方はこの事業を活用し、計画的に行ってください。

※ただし、下呂市に住民票のある方が市内の医療機関で接種する場合に限ります。

※助成の対象者や助成額など詳しくはホームページか各地区の保健センターにお問い合わせください。

～下呂市子育て支援予防接種事業～

①おたふく風邪(流行性耳下腺炎)

対象要件 1歳から4歳未満のお子さん
助成金額 5,000円（1回あたりの上限額）
接種回数 1回

③大人の風しん

対象要件 妊娠を希望する女性とその夫（他にも細かい要件がありますので、ご確認ください）
助成金額 9,000円（1回あたりの上限額）
接種回数 1回

②B型肝炎(H29.3.31で終了)

対象要件 H27.4.2以後生まれの2カ月以上のお子さん
助成金額 5,000円（1回あたりの上限額）
接種回数 3回

④子どもと妊婦のインフルエンザ（※）

対象要件 妊婦、生後6カ月から中学3年生のお子さん
助成金額 2,700円（1回あたりの上限額）
接種回数 1回または2回（13歳以上は1回）
※詳細は本誌12・13ページの「健康だより」をご参照ください。

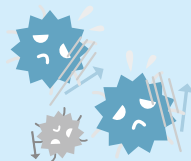
▶接種できる医療機関 市内の医療機関

※予防接種の種類により、できる医療機関が異なりますので、ご注意ください。

▶接種できる期間 年間を通して接種できます（休診日を除く）

※子どもと妊婦のインフルエンザはH28.10.1からH29.3.31までです。

▶詳細について 案内ポスターが市内の医療機関や保健センターに貼られています。



「予防接種のご注意」

これからも、社会全体として一定の接種率を確保して、免疫水準を維持することが大切です。ただし、極めてまれではありますが、接種により重篤な健康被害が発生することがあり得るという事実もあります。接種する予防接種について、正しい知識を持って安全に接種ください。

お問い合わせ先

健康医療課

☎53・2101

下呂保健センター

☎25・2680

小坂保健センター

☎62・3443

金山保健センター

（金山振興事務所内）

☎32・4500

萩原保健センター

☎52・1230

※馬瀬地域の方は萩原保健センターへお問い合わせください。